

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：県産材流通対策費

事業名 木の国・山の国ぎふ木づかい運動支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 県産材流通課 消費対策係 電話番号：058-272-1111 (内 3015)

E-mail：c11545@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,160 千円 (前年度予算額：2,160 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,160	0	0	0	0	0	0	0	2,160
要求額	2,160	0	0	0	0	0	0	0	2,160
決定額	2,160	0	0	0	0	0	0	0	2,160

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

①経緯

- 岐阜県木材協同組合連合会等の県内木材団体においては、県産材利用の一層の推進を図るため、木造住宅講習会・研修会の実施、木材利用に関する展示会や巡回PR活動、相談活動及び啓発資料配布等を実施してきた。

②現状と問題点

- 県内木造住宅着工戸数が伸び悩む中、東京・名古屋等の大都市圏で県産材住宅を積極的にPRし、需要拡大を図る必要がある。
- 近年「木づかい」への関心は高まっており、今後「木の国・山の国」を担う子どもたちに、木とふれあい木の良さを体感できる機会をつくることは、将来の県産材需要拡大に大きく貢献する。

(2) 事業内容

県レベルの木材関係団体が実施する、県産材販売促進・販路拡大・木育活動等に事業費の2分の1の範囲で助成する。

① 県産材販路拡大学習会の開催

木に対する理解を深めるための学習会や新技術、普及啓発および販売戦略

の手法等について考える研修会を開催する。

② 県産材販売促進資料等の作成

木材利用推進のための方策を推進する協議会による県産材の販売拡大に関する資料作成を実施する。

③ 県産材展示会等の開催等

東京都や名古屋市等の大都市の消費者向けに、「東濃桧」「長良杉」等岐阜県産材の情報発信を行い県産材の需要拡大につなげるため、総合住宅展示会に出展する。

④ 消費者向け相談活動等の実施

木造住宅に関する消費者相談窓口の設置や、木造住宅・県産材商品情報の提供、消費者向けセミナーや相談会を開催する。

⑤ 木育活動の実施

児童生徒等将来の木材需要者に対する効果的な木育活動を図るため、関する教育活動や、木工工作コンクールを開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県産材需要拡大対策は、木材産業振興のみならず、県土の保全、経済・雇用にも寄与しており、事業主体負担経費の1/2を県負担とする。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	2,160	1 講演会研修会の開催：事業費 98 千円 補助額 49 千円 2 普及啓発資料作成等の実施：事業費 194 千円 補助額 97 千円 3 県産材展示会の開催等：事業費 2,390 千円 補助額 1,195 千円 4 消費者向け相談活動等の実施：事業費 930 千円 補助額 465 千円 5 木育活動の実施：事業費 708 千円 補助額 354 千円
合計	2,160	

決定額の考え方

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	木の国・山の国木づかい運動支援事業費補助金
補助事業者（団体）	岐阜県木材協同組合連合会 岐阜県木材利用推進協議会 岐阜県木材青壮年団体連合会 (理由) 木材事業者が組織する団体で木材利用推進のために活動する団体であるため
補助事業の概要	(目的) 県産材の利用拡大 (内容) 木材業界団体が行う、県産材利用拡大のための展示会・講演会の開催、普及啓発、PR活動に要する経費に対し助成を行う。
補助率・補助単価等	定額・ <u>定率</u> ・その他（例：人件費相当額） (内容) 1 / 2 以内 (理由)
補助効果	
終期の設定	終期 令和 8 年度 (理由) 第 4 期森林づくり基本計画の終期に合わせ事業継続

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>第 4 期森林づくり基本計画の終期の令和 8 年度にける県内外での県産材住宅の建築戸数を 2,300 棟/年、ぎふの木で家づくり協力工務店数 300 社を目指す。その結果、木づかいが県民に伝わり県産材需要拡大に貢献する。</p>
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R2)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標	
					(R8)	達成率
① 県内外での県産材住宅の建築戸数	2,011	2,011	/	2,200	2,300	%
② ぎふの木で家づくり協力工務店（社）	113	113	/	180	300	%

	H30 年度	R 元年度	R2 年度
補助金交付実績	2,160 千円	2,160 千円	790 千円

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	新型コロナウイルス感染症対策により、展示会等が中止となる中で木づかい活動を行った。ぎふの木で家づくり支援事業支援 (構造物) 実績は、R1年度補助棟数 236 棟から R2年度補助棟数 266 棟に増加している。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり (単年度目標 100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり (単年度目標 100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない (単年度目標 50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない (単年度目標 50%未満) 	
(評価) 1	ぎふの木で家づくり支援事業支援の実績棟数が上がっていることから、引き続き木づかい活動を支援し木材利用を促進する。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	SDGs、カーボンニュートラル 2050 の達成のため木材利用に関する関心が高まっていることから関連した木づかい運動を展開していく。

(今後の課題)

<p>新型コロナウイルス感染症対策により、展示会等が減っていることから、インターネット等を活用した木づかい活動を取り入れた取り組みを行う。</p>

(次年度の方向性)

<p>SDGs、カーボンニュートラル 2050 の達成のため木材利用に関連したPRをインターネット等を活用して実施し、木づかい運動を展開していく。</p>
